

熱中症予防をしましょう

梅雨明けの急に暑くなる7月は、体が暑さに慣れていないため、例年熱中症による救急搬送者数や死亡者数が急増しています。近年では40度を超える気温となる日も増加しており、40度以上になる日が新たに「酷暑日」と定められました。

こうした気温が高い中、エアコンを活用せずに過ごすことは大変危険です。熱中症の正しい予防法を知り、自分の身を守りましょう。

熱中症とは

気温が高い、蒸し暑いなどの環境下で体温調節をする機能が働かなくなり、体に熱がこもってしまった状態。

熱中症が疑われる症状

軽症	めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の汗
中等症	頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感
重症	意識がない、けいれん、水分が取れない

暑さを避けるため

クールオアシス&クーリングシェルターをご活用ください

クールオアシス

外出中に休憩できる、冷房が効いていて、「熱中症対策応急キット」が用意されている施設です。

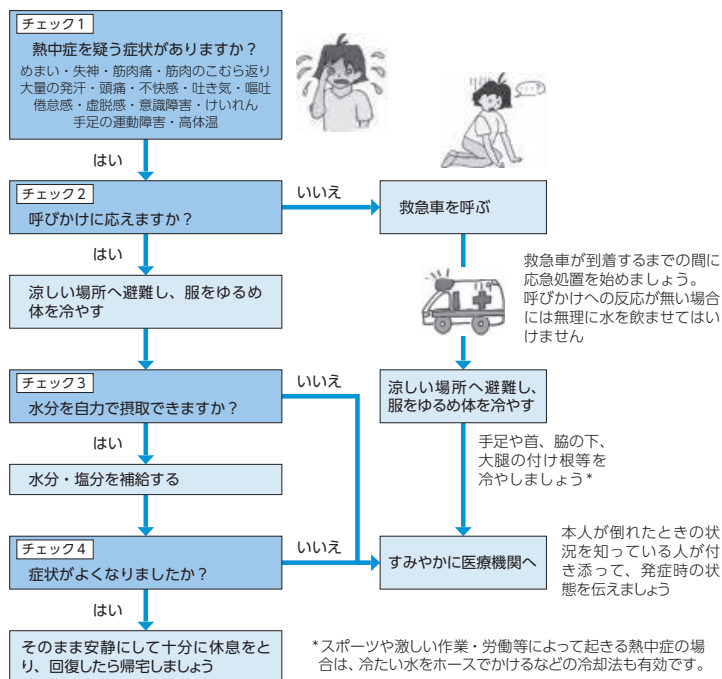
クーリングシェルター

県内全ての暑さ指数情報提供地点において、翌日の暑さ指数(WBGT)が35以上になると予測された場合(熱中症特別警戒アラートが発令された場合)に利用することができる、市が指定した施設です。

熱中症が疑われる症状がでたら

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら…。落ち着いて、状況確かめて対処しましょう。最初の処置が肝心です。



出典：環境省熱中症予防情報サイト



市内のクールオアシス、クーリングシェルター協力施設はこちらからご確認ください。



市ホームページ

▶問い合わせ 健康課保健事業担当(内線361～364)

6月1日から総合体育館のメインアリーナとサブアリーナの空調設備が稼働しています



メインアリーナ



サブアリーナ

総合体育館内の温度・湿度の適切な管理や、熱中症対策のさらなる強化を図るため、空調設備を整備しました。

暑い夏の日でも寒い冬の日でも、安心して快適にスポーツをお楽しみいただけます。ぜひ、ご利用ください。

▶問い合わせ スポーツ振興課管理担当 ☎ 556—8336

新しい防災気象情報・気象防災速報に変わりました

5月29日(金)から新しい防災気象情報の運用が開始されました。

これまで、河川氾濫や大雨などの気象情報は、警戒レベルとの対応が複雑で分かりにくくなっていました。今回の変更により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断がしやすくなります。

防災気象情報が発表された場合は「キキクル」や河川の水位情報、市が発令する避難情報などを確認して早めに避難の準備をするように心掛けてください。

防災気象情報

- ・防災気象情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)を5段階の警戒レベルにあわせて気象庁が発表します。
- ・警戒・注意報の情報名に「レベル」が付記されます。(例：レベル4大雨危険警戒など)
- ・「警戒レベル4相当」の情報は「危険警戒」として発表されます。
- ・河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります。(特別警戒の新設など)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当(黒)	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒	命の危険、直ちに安全確保!
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! > -----					
警戒レベル 4相当(紫)	レベル4 氾濫危険警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当(赤)	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2(黄)	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1(白)	早期注意情報				災害への心構えを高める

気象防災速報

- ・警戒レベル相当情報やそれ以外の警戒などを補足する情報として、線状降水帯などの顕著な現象が発生または発生しつつある場合に、気象庁が「気象防災速報」を発表します。

これまで(旧)

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する
気象情報

これから(新)

気象防災速報
(記録的短時間大雨)

気象防災速報
(線状降水帯発生)

気象庁が、新たな防災気象情報の特設サイトを公開しています。詳しくは、気象庁ホームページでご確認ください。

▶問い合わせ 危機管理課(内線280)



気象庁ホームページ